

あ
ゆ
み

(令和7年10月31日発行)

豊高定時制の「学び」のともしびを守り、育て、

私たちはとともに「歩み」続ける。



〒6668-0042 豊岡市京町12-91

☎0796-22-2113



10月1日(水)

地域での活動
茶道体験（豊岡市役所にて）

総合的な探究の時間でお世話になっている講師の先生からのお誘いにより、豊岡市役所で行われた地域のお茶会に2年生の秋永さんが参加しました。地域の方へお点前を披露することができます。地域で貢献し感謝される体験は貴重ですね。温かく迎えて下さる地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は、アイスブレイクの後、「俳優をたたせてみよう!」という題目でスicket作りに挑戦しました。1・2年生合同の班で積極的に意見を出し合いました。各グループの創意工夫溢れる発表に、みんなおいに盛り上りました。柔軟な発想力に驚きです。コミュニケーションが苦手な人も精一杯、頑張りました。



旧役員の皆さん、
お疲れさまでした。



【生徒会長】3年 山本 力也さん
【生徒副会長】2年 吹本 亮さん
【書記長】3年 秋永 翼さん
【会計部長】2年 三輪 鈴音さん

後期生徒大会を行いました。前期生徒会長は堂々と挨拶をし、後期生徒会に引き継ぎました。また、制服検討委員会によりクラスでまとめた意見を各クラスの代表者が発表しました。後期役員を中心に、全員で学校に新しい風を吹き込み、さらに誰もが楽しく充実感ある学校にしていきましょう。

10月3日(金)

後期生徒大会

【1年生】竹内 大輝さん
自分が、当たり前に思っていることは、時には違うことがあることがわかった。
【1年生】福嶋 大我さん
一人に任せる形になってしまったので、もっと前に出ていこうと思っています。

2年



4年



制服検討委員会より

新役員



1年



3年



10月21日(火)

赤い羽根共同募金

マルワ三坂店にて赤い羽根共同募金「街頭募金」を行いました。後期生徒会役員をはじめ、多くの生徒が店頭で募金を呼びかけました。8,234円の寄付金が集まりました。また、募金会より感謝状もいただきました。快くご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



10月24日（金）防災講演会

阪神淡路大震災から三十年の節目を迎えて、保護者の方々や地域の方々にも参加していただき、防災講演会を開催しました。講師として東日本大震災の被災者でもある歌手 asari 様、語り部の雁部様に遠方よりお越しいただきました。生徒は、22日（水）に防災講演会に向けて行われた事前学習では「震災」についての知識を教わり、「東日本大震災」の規模の大きさを映像で見た

【生徒の感想】1年生 岩本 裕也さん
話を聞いて、自分がもしその場にいたら
ら、パニックになるなと思うし、雁部さ
んの小学生の時の話を聴いて辛かつた
と思うし、現実だと思えないこともそう
だろうなと思いました。でも、それを受
け止めて自分の身で体験したことを探
前で話すことが出来るのは凄いなと思
いました。asariさんに、「恩返し、出来
ているか」と聞かれたとき、自分はでき
ていないかもなと思つていたけど、生き
ているだけで恩を返せていると聞いて、
確かに生きているだけで親は嬉しいだ
ろうと思いました。今日の話を聴いて、
いろいろ学べたこともあるし、講演では
心に響いた言葉があり、歌の歌詞も良い

り、聞いたりして真剣に取り組んでいました。講演会では、語り部の雁部様からは、映像を使って被害者目線で分かりやすく語つていただきました。歌手のasari 様は、「塩竈桜」「命のバトン」など、心に響く美しい歌声で命の重みを訴えかけてくださいました。講演会を通して、想像しながら他人事から自分事にして聴くことが大切である」と、生きているだけで恩返しができていること、「これからの中を生き抜くために」「なぜ?」と問い合わせ続けることが大切である」となった。2年生の三輪鈴音さんは、謝辞で「自分が」と「自分で考えられた」と、しつかり伝えることができました。遠方からお越しいただき、本当に有難うございました。

言葉で、とても良かつたです。今日は有難うございました。—

【11月の行事予定】

